

平成27年度 宇都宮市立瑞穂野中学校 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重の精神を基盤に、豊かな心と個性をもち、自主性・創造性を発揮して、21世紀をたくましく生きる人間を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など） () 内は生徒の指標

- 心身ともに健康で、気力あふれる生徒 (強 く)
- 自ら学び、創造性に富む生徒 (賢 く)
- 勤労を尊び、責任感のある生徒 (明るく)
- 思いやりがあり、心豊かな生徒 (親切に)

2 学校経営の理念

生徒相互が個性を認め合いながら、学習や行事、部活動などに目的意識をもって取り組む中で、すべての生徒が、自分のもつよさを自覚し、将来に希望をもって努力しようとする生徒を育成する。

そのために、教職員は自己の使命を自覚し、自己研鑽に励み、ひいては保護者や地域住民から信頼される学校を目指す。

3 学校経営の方針

[瑞穂野地域学校園 教育ビジョン]

9年間の連続した学びの中で「生きる力」を育てる小中一貫教育
～ 瑞穂野地域 学力向上プロジェクト ～

- (1) 生徒が安心して自分の成長と向き合うことができるように、公正で温かな学校づくりに努める。
- (2) 教職員としての使命と責任を自覚するとともに、常に自己研鑽に励み、専門職としての指導力の向上に努める。
- (3) 教職員は多様な生徒の存在を認識し、生徒と教職員の人間的な触れ合いを深め、人権感覚を磨きながら、生徒理解や指導方針に基づく生徒指導を推進する。
- (4) 教師自ら豊かな心と愛情を持ち、全校的な協力体制のもとで、本校の歴史と伝統を生かした、調和と統一のある教育活動を展開推進する。
- (5) 教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間を通して、生徒自らが考え行動できる資質を養うため、創意ある教育課程編成に努める。
- (6) 小学校や保護者・地域社会との連携を密にし、開かれた学校を目指し、特色ある学校づくりに努める。
- (7) 9年間を見通して、生きる力を育む小中一貫教育の最終段階として、学びを広げ深められる環境を整える。

4 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

- ・全職員が課題について共通認識し、課題解決のために組織的に対処する。

(2) 学習指導

- ・本校生徒の学習指導上の課題を分析し、学力向上を目指した指導方法の研究を行う。
- ・学習に対する目的意識を持たせ、望ましい学習習慣の確立を目指す。

- ・コミュニケーション力の育成を目指した授業を推進する。
- ・スタンダードテストを効果的に活用する。

(3) 児童生徒指導

- ・教育相談や各種調査等（Q-U検査等）を有効に活用し、生徒理解に努めるとともに不適応生徒が出ないための予防策を講ずる。
- ・不適応生徒が出た場合は組織的に対応する。
- ・本校生徒のもつ良さを伸ばしつつ、正しい判断で行動できる生徒の育成を目指す。

(4) 健康（保健安全・食育）・体力

- ・自己の健康を将来にわたって保持しようとする健康教育・食育を推進する。
- ・自己の体力の現状を認識させ、進んで自らの体力を向上させようとする生徒を育成する。
- ・体力の向上を目指した部活動を推進する。
- ・交通安全に対する意識を高める。

5 学習指導、児童生徒指導、健康（保健安全・食育）・体力に関する取組

<学習指導>

(1) 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

○自ら学び考える力を育成し、基礎・基本の知識・技能の定着のための学習習慣の確立

- ・学習に関する目的意識の向上と、望ましい学習習慣の確立。
- ・コミュニケーション力の育成を目指した授業の研究。

(2) 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆）

- ・基本的な学習習慣の確立の手立て（チャイムで授業開始・学習に必要な用具の確認・家庭学習の習慣をつけるための支援・「瑞中生学習の約束」の提示と励行）。

☆[瑞穂野地域学校園習得基準表]によるスタンダードテストの実施と基礎基本の定着。

- ・基礎的基本的な内容を明確にし、定着と活用を図るための話し合い活動に重点を置いた授業の研究と実践。

<生徒指導>

(1) 今年度の重点目標

- ・思いやりの気持ちを持ち、正しい判断の下、粘り強く最後までやり遂げることができる生徒の育成

(2) 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆）

ア 基本的生活習慣について

- ・身だしなみ強化週間の実施（4月、9月、10月、1月、3月）
- ・学習態度の明確化と徹底

☆チャイム着席の徹底（年間）

・あいさつ運動（年間、合同開催10月）

イ 規範意識の高揚について

☆いじめアンケートの実施（5月、10月）

・薬物乱用防止教室（7月）

ウ 望ましい集団づくりについて

- ・Q-U検査を活かした学級経営

☆体育祭、文化祭、クラス対抗長縄跳び大会への積極的な参加（5月、10月、2月）

エ 個に応じた指導の充実について

☆スタンダードダイアリーの活用（年間） ☆定期教育相談の実施（６月、１１月）

・SCやMSとの緊密な連携構築

(5)家庭、地域、各関係機関との連携について

☆ネットトラブル防止対策（PTA 総会４月、保護者会１年：９月、２・３年：５月）

<健康（保健安全・食育）・体力>

(1) 今年度の重点目標

- ・教育活動全般を通して、体育的活動を充実させ、体力の向上を図る。
- ・体力づくりの工夫と積極的な実施により、心身ともに健康な生徒の育成を図る。
- ・休み時間や放課後等の運動を奨励し、自ら体力の向上に努める。
- ・運動部活動への参加呼びかけや指導体制の確立、効果的な指導の工夫を図る。
- ・施設の安全管理や事故防止の強化を図る。
- ・視力、歯科治療率の向上

(2) 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆）

- ・教科体育や体育的行事、運動部活動の一層の充実
- ・教科体育における補強運動の工夫

☆体力スタンダードミニマムの達成率の向上

- ・視力、歯科の個別指導の充実

6 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

友達や教職員、地域住民とのかかわりを深め、協力して行う活動を体験する中で、地域の良さを自覚し、郷土への親近感を持ち、社会の一員としてよりよい生活を築いていこうとする意欲と態度の育成

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

ア 学校行事、生徒会活動

◇学校林および花壇の整備活動

- ・体育祭での高齢者との交流
- ・文化祭での保護者、地域の子どもや高齢者との交流
- ・特別養護老人ホームでのボランティア活動
- ・水田耕作体験（２年）
- ・あいさつ運動などによる地区内小学生との交流
- ・地域の行事でのボランティア活動（れんげ祭り、文化祭等、交通安全パレード 他）

イ 総合的な学習の時間

○◇地域の方々を指導者に迎えて行うホタルの飼育体験学習（１年）

7 本市の重点施策・事業と関連する取組

(1) 「小中一貫教育・地域学校園」に関する取組

- ・基礎学力の定着を図るため、「瑞穂野プラン」を改善する。
- ・学校園の道徳的課題について小中学校が系統立って解決するため「ユニット化指導計画」を作成し実践する。
- ・学習するための基本的な能力（学習力）育成のために学業指導やノート指導の改善を図る
- ・一人一人が明確な目標を持って運動に取り組めるようにするため、基準を作成する。

（２）「地域とともにある学校づくり」に関する取組

- ・魅力ある学校づくり地域協議会との連携を促進させる。
- ・地域主催の行事へのボランティア活動を推進する。
- ・学校情報を発信する。（学校ホームページの活用）

（３）「宮っ子心の教育」に関する取組

- ・様々な分野で頑張った生徒を積極的に賞賛する機会を設ける。（朝会などを活用）
- ・体験と関連を図った道徳教育の推進